

平成28年5月14日
地域連絡協議会 資料

(仮称)3市共同資源物処理施設整備工事
提案図書作成条件書 別添資料

1 調査ボーリング

1) 現地状況

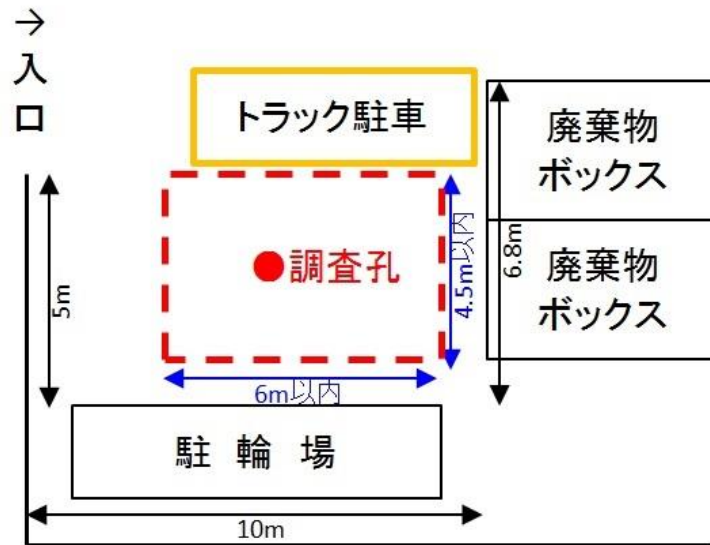
作業範囲の位置図と作業範囲周辺見取り図を以下に示す。

調査は暫定リサイクル施設の南西部、入口近傍で実施した。作業中は、仮囲い(6m×4.5m、h=1.8m)を及びやぐら(5m程度)設置し、搬入搬出、給水はトラックにより行った。

作業範囲の位置図



作業範囲周辺見取り図



2) ボーリング調査結果

ボーリング調査結果は、図に示すとおりである。

調査地点は、表層からローム層が5m程度の層厚で分布し、その下位に砂礫層が分布する。礫層層はN値50以上を示し、基盤層として期待できる。

地下水は砂礫層中に滞水し、自然水位でGL-7.92mの地点で確認された。

ボーリング柱状図

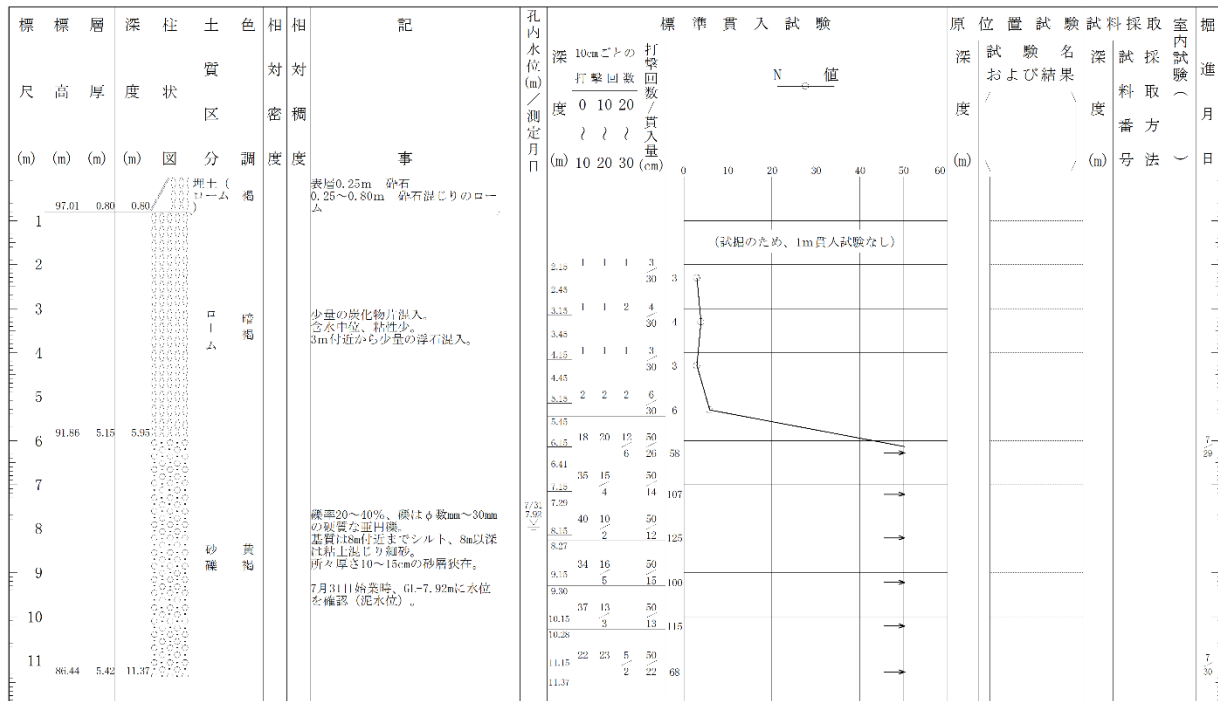
調 査 名 3市共同資源物処理施設整備実施計画策定業務委託

ボーリングNo. _____

事業・工事名 _____

シートNo. _____

ボーリング名	No. 1	調査位置	東大和市桜が丘2-122-2	北緯	35° 44' 1.9"
発注機関	小平・村山・大和衛生組合	調査期間	平成 27年 7月 29日 ~ 27年 7月 31日	東経	139° 25' 31.6"
調査業者名	パンフィックコンサルタンツ(株) 電話(042-372-7365)	主任技師	西川 昌秀	現場代理人	棕本 浩一 コ 定 者 ア 三尾 栄治
ボーリング責任者	山田 幸平	試験機	YS0-1H	ハンマー落下用具	コーンブリー
孔口標高	97.81m	角	180° 90° 上 0° 下	地盤勾配	鉛直 0° 水平 0°
総掘進長	11.37m	向	北 0° 270° 西 180° 東 90°	エンジン	ヤンマーNFD-9
				ポンプ	カノーV6-P



2 VOC 発生量調査

1) 目的

プラスチック等の圧縮時における揮発性有機化合物（VOC）の発生状況を測定することにより、現在計画を進めている 3 市共同資源物処理施設における施設の計画策定に資することを目的とした。

2) 調査年月日

平成 27 年 12 月 1 日（火）

3) 対象施設

小平市リサイクルセンター：東京都小平市小川東町 5-19-10

4) 対象作業

容器包装プラスチック（容リプラ）圧縮作業
ペットボトル圧縮作業

5) 調査地点

圧縮・梱包機近傍
小平市リサイクルセンター周辺地

詳細の調査地点は、図 1 のとおり。

6) 調査項目

調査項目及び測定分析方法は、表 2 のとおり。

7) 調査方法

圧縮・梱包機付近に測定機材を設置し、高さ約 1m の位置で大気を吸引し、各物質の測定分析方法に従って採取を行った。

採取に使用する機材は、吸着・補集剤、吸引用ポンプ、ガスメーターを使用し、施設の定常稼働状態時（動作確認や点検・清掃時等を除く）に採取を行った。

また、ブランクの確認として、対象施設の周辺地においても試料採取を行った。

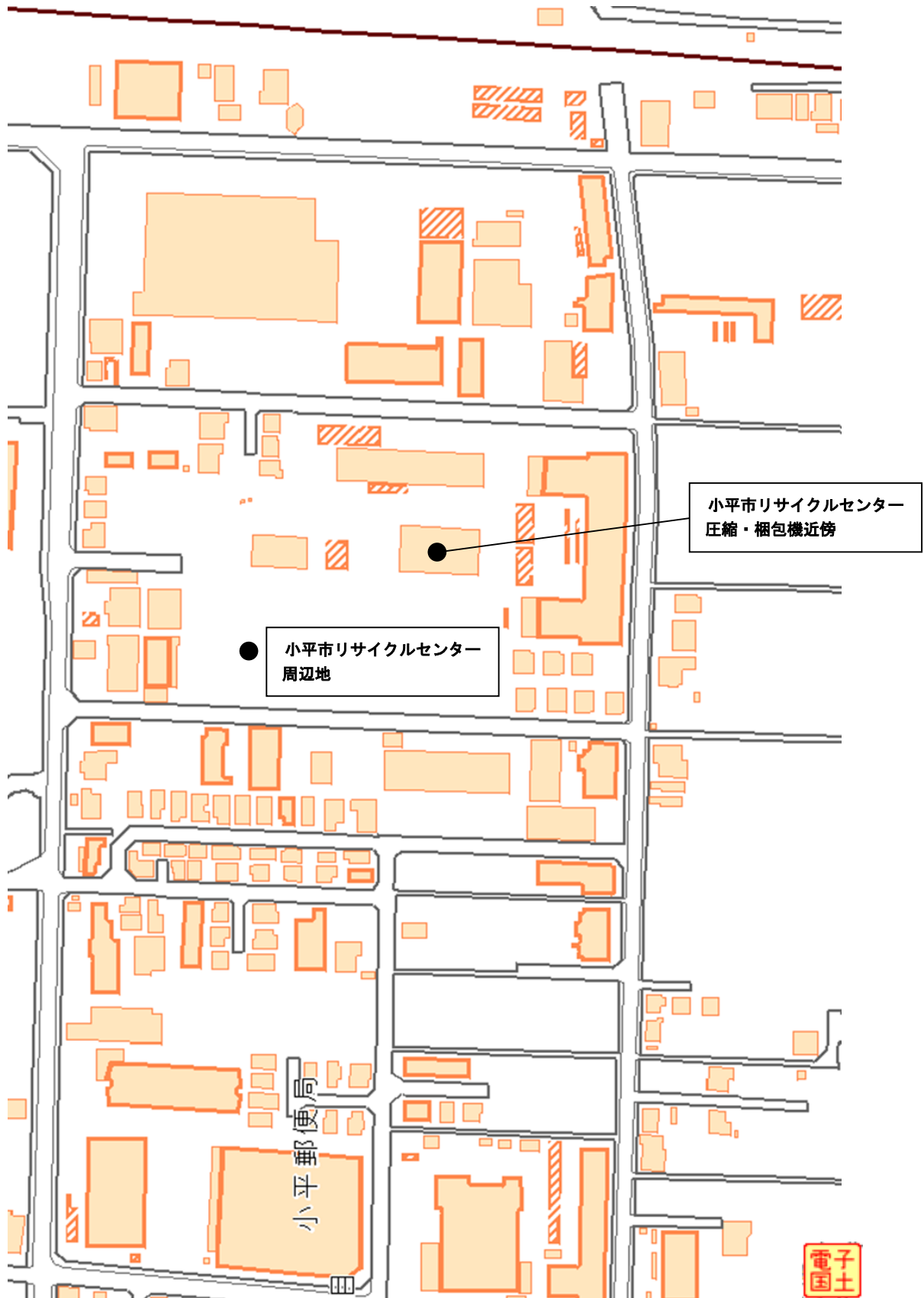


図1 調査地点図 (小平市リサイクルセンター 周辺地)

表2 調査項目及び測定分析方法

No.	調査項目	測定分析方法	定量下限値 ($\mu\text{g}/\text{m}^3$)
1	クロロメタン (塩化メチル)	キャニスター採取 ガスクロマトグラフ質量分析法	1 10* ¹ 20* ²
2	1,3-ブタジエン		1
3	トリクロロエチレン		1
4	テトラクロロエチレン		1
5	ベンゼン		1
6	ジクロロメタン		1
7	ブタン (n-ブタン)		1
8	ペンタン (n-ペンタン)		1
9	アクリロニトリル		1
10	塩化ビニルモノマー		1
11	クロロホルム		1
12	1,2-ジクロロエタン		1
13	トルエン	固相吸着 (吸引方式) 溶媒抽出-ガスクロマトグラフ 質量分析法	25
14	キシレン		25
15	エチルベンゼン		25
16	スチレン		22
17	テトラデカン		25
18	パラジクロロベンゼン		24
19	ホルムアルデヒド	固相吸着 (吸引方式) 溶媒溶出-高速液体クロマトグラフ法	10
20	アセトアルデヒド		4
21	クロルピリホス	固相捕集 ガスクロマトグラフ質量分析法	0.1
22	ダイアジノン		0.1
23	フェノブカルブ		0.1
24	フタル酸ジエチル	ろ紙捕集 ガスクロマトグラフ質量分析法	10
25	フタル酸ジ-n-ブチル		10
26	アジピン酸ジ-2-エチルヘキシル		10
27	フタル酸ジ-2-エチルヘキシル		10
28	エタノール	固相吸着 加熱脱着-ガスクロマトグラフ 質量分析法	1
29	総揮発性有機化合物量 (T-VOC)		—

* : 容器包装プラスチック(容リプラ)圧縮作業(*2)及びペットボトル圧縮作業(*1)は、共存物質による測定妨害のため、定量下限値を変更した。

8) 調査結果

調査結果は、表3のとおり。

表3 調査結果

[単位： $\mu\text{g}/\text{m}^3$]

No.	項目	周辺地	容リプラ	ペット	備考
1	クロロメタン (塩化メチル)	1	<20	<10	
2	1,3-ブタジエン	<1	4	3	
3	トリクロロエチレン	<1	<1	<1	
4	テトラクロロエチレン	<1	<1	<1	
5	ベンゼン	1	12	10	
6	ジクロロメタン	2	2	1	
7	ブタン	1	2,300	250	
8	ペンタン	1	14	10	
9	アクリロニトリル	<1	<1	<1	
10	塩ビモノマー	<1	<1	<1	
11	クロロホルム	<1	<1	<1	
12	1,2-ジクロロエタン	<1	<1	<1	
13	トルエン	<25	42	31	
14	キシレン	<25	<25	<25	
15	エチルベンゼン	<25	<25	<25	
16	スチレン	<22	<22	<22	
17	テトラデカン	<25	<25	<25	
18	パラジクロロベンゼン	<24	<24	<24	
19	ホルムアルデヒド	<10	11	<10	
20	アセトアルデヒド	<4	12	30	
21	クロルピリホス	<0.1	<0.1	<0.1	
22	ダイアジノン	<0.1	<0.1	<0.1	
23	フェノブカルブ	<0.1	<0.1	<0.1	
24	フタル酸ジエチル	<10	<10	<10	
25	フタル酸ジ-n-ブチル	<10	<10	<10	
26	アジピン酸ジ-2-エチルヘキシル	<10	<10	<10	
27	フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	<10	<10	<10	
28	エタノール	13	980	9,200	
29	T-VOC	170	340	630	

3 平面図

1) 平面図

平面図を以下に示す。

平面図 S=1:500

KBM
H=97.472

